

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔米国基準〕（連結）

平成25年1月30日

上場会社名 オムロン株式会社  
 コード番号 6645  
 代表者 役職名 代表取締役社長  
 氏名山田義仁  
 問合せ先責任者 役職名 執行役員 理財センタ長  
 氏名 大上高充

上場取引所 東証、大証 各市場第一部  
 URL <http://www.omron.co.jp/>  
 TEL (075)344-7070

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有・無 (投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	463,681	2.4	27,848	△7.6	28,216	7.2	20,684	77.7
24年3月期第3四半期	452,859	0.3	30,137	△18.9	26,323	△26.8	11,641	△49.8

(注) 四半期包括利益 25年3月期第3四半期 30,165百万円 ( - %) 24年3月期第3四半期 △2,302百万円 ( - %)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年3月期第3四半期	93	96	93	96
24年3月期第3四半期	52	89	52	89

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	559,473	349,569	347,900	62.2
24年3月期	537,323	321,680	320,840	59.7

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	期末	合計			
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭		
24年3月期	—	—	14	00	—	—	14	00	28	00
25年3月期	—	—	14	00	—	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—	23	00	37	00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・無  
 25年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当18円00銭 記念配当5円00銭  
 詳細は、本日(平成25年1月30日)公表いたしました「平成25年3月期創業80周年記念配当を含む配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	650,000	4.9	46,000	14.6	43,000	28.2	28,500	73.9	129	47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有・無  
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用： 有・無

(3) 会計方針の変更

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有・無  
 ② ①以外の会計方針の変更： 有・無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	239,121,372株	24年3月期	239,121,372株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	18,990,685株	24年3月期	18,991,739株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	220,130,129株	24年3月期3Q	220,086,774株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想などは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により、異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える重要な要因には、(a) 当社グループの事業領域を取り巻く日本および海外の経済情勢、(b) 当社グループ製品・サービスに対する需要動向、(c) 新技術開発・新商品開発における当社グループの能力、(d) 資金調達環境の大幅な変動、(e) 他社との提携・協力関係、(f) 為替・株式市場の動向、(g) 事故・震災などがあります。

なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、P. 6「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

2. 当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年8月10日内閣府令第64号）附則第4条の規定により、米国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して作成しています。

3. 当社は、米国会計基準に基づき連結損益計算書の表示形式としてシングルステップ方式（段階利益を表示しない方式）を採用していますが、他社との比較可能性を高めるため、当決算短信の「営業利益」は、「売上総利益」から「販売費及び一般管理費」、「試験研究開発費」を控除したものを表示しています。

4. 当社は、平成25年1月30日（水）に投資家向け説明会を開催する予定です。

その模様および説明内容（音声）については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

(注) 事業の種類別セグメントの名称を次のとおり略して記載しています。

I A B : インダストリアルオートメーションビジネス（制御機器事業）

E M C : エレクトロニック&メカニカルコンポーネントビジネス（電子部品事業）

A E C : オートモティブ・エレクトロニックコンポーネントビジネス（車載事業）

S S B : ソーシャルシステムズ・ソリューション&サービスビジネス（社会システム事業）

H C B : ヘルスケアビジネス（ヘルスケア事業）

その他： 環境事業推進本部、電子機器事業本部、マイクロデバイス事業推進本部、オムロンレジジョンテクノロジー(株)など

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 6
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 6
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 6
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用	P. 6
(3) 会計方針の変更	P. 6
3. 四半期連結財務諸表	P. 7
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括損益計算書	P. 9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 1 1
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 1 2
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 1 2
(6) セグメント情報等	P. 1 2
(7) 重要な後発事象	P. 1 3
4. 補足情報	P. 1 4
(1) 連結業績概要	P. 1 4
(2) 連結セグメント別売上高実績	P. 1 5
(3) 連結セグメント別営業利益実績	P. 1 5
(4) 期中平均レート実績	P. 1 5
(5) 連結セグメント別売上高予想	P. 1 6
(6) 連結セグメント別営業利益予想	P. 1 6
(7) 期中平均レート予想	P. 1 6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

#### ○ 全般的概況

当第 3 四半期連結累計期間（平成 24 年 4 月～12 月）における当社グループの業績は、東日本大震災やタイ洪水等の一時的な変動要因があった前年同期と比較すると、I A B（制御機器事業）で売上高が伸び悩んだものの、A E C（車載事業）・S S B（社会システム事業）・H C B（ヘルスケア事業）が好調に推移し、売上高はほぼ横ばいとなりました。当社の認識として、当第 3 四半期連結累計期間の概況は以下のとおりです。

#### <各地域の経済・市場概況>

日本：自動車業界は堅調に推移するも半導体業界などが低迷し、景況感は悪化  
 米国：自動車業界等は堅調に推移したが、全体の景況感は鈍化  
 欧州：金融不安による経済悪化に底打ち感はあるものの、低迷は継続  
 中国：底堅い需要はあるものの、経済情勢の悪化などにより成長率は鈍化  
 アジア：タイの復興需要を含めアセアン新興国は堅調、半導体業界は低迷

#### <当社グループの主な関連市場の状況>

自動車関連：欧州以外での設備投資・部品需要は堅調  
 半導体関連：スマートフォンを除く設備投資需要は低調  
 工作機械関連：新興国向けを中心に設備投資需要は堅調  
 家電・電子部品関連：白物家電向け設備投資・部品需要は堅調  
 健康機器関連：新興国の経済成長に伴う購買層の増加で需要は堅調

このようななか、当社グループは当期の年度方針を「Accelerate VG2020！ ～“競争能力強化”による高成長構造と高収益構造の実現～」とし、実行プランとして「IA 事業の最強化」「アジア・中国を中心とした、新興国での売上拡大」「強いビジネスモデルの構築による、環境事業の売上拡大」を進め、着実に中長期の売上・利益拡大に向けた施策を実行してまいりました。

結果としての当第 3 四半期連結累計期間の業績結果は以下の通りです。売上高は前年同期比でやや増加しましたが、営業利益は前年同期比で減少しました。営業利益の減少は、主にユーロ安、I A B（制御機器事業）における前年度の東日本大震災の影響による一時的な売上増の反動によるものです。また、税引前四半期純利益の前年同期比増加の主な要因は為替差損の減少によるもので、当社株主に帰属する四半期純利益の前年同期比増加の主な要因は、法人税率引下げに関連する法律が成立したことに伴い、前期に繰延税金資産を取崩したことによるものです。

	平成 24 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	平成 25 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	増減率
売上高	4,528 億 59 百万円	4,636 億 81 百万円	+2.4%
営業利益	301 億 37 百万円	278 億 48 百万円	△7.6%
税引前四半期純利益	263 億 23 百万円	282 億 16 百万円	+7.2%
当社株主に帰属する 四半期純利益	116 億 41 百万円	206 億 84 百万円	+77.7%
米ドル平均レート	79.2 円	80.4 円	+1.2 円
ユーロ平均レート	111.4 円	103.2 円	△8.2 円

○ セグメント別の状況

I A B (制御機器事業)

		平成 24 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	平成 25 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	国内	922 億 4 百万円	870 億 71 百万円	△5.6%
	海外	1,137 億 6 百万円	1,053 億 81 百万円	△7.3%
	合計	2,059 億 10 百万円	1,924 億 52 百万円	△6.5%
営業利益		277 億 64 百万円	202 億 90 百万円	△26.9%

<国内売上高の状況>

自動車関連業界・電子部品関連業界は、ほぼ前年同期並みの需要で推移しましたが、半導体関連業界では設備投資需要が低調に推移したことから売上高が伸び悩みました。当第 3 四半期連結累計期間における国内売上高は、東日本大震災やタイ洪水の影響による前年同期の一時的な売上増の反動もあり、前年同期比で減少しました。

<海外売上高の状況>

米州では好調な自動車業界に支えられ堅調に推移しました。欧州では景気低迷への底入れ感はあるものの需要は低調に推移しました。また、中国では底堅い需要はあるものの前年同期の一時的な売上増の反動もあり低調に推移しました。アジアでは新興国全体の底堅い需要はあるものの、韓国の半導体業界等の設備投資抑制などにより需要は低迷しました。それらの結果、当第 3 四半期連結累計期間における海外売上高は前年同期比で減少しました。

<営業利益の状況>

ユーロ安や前年同期の一時的な売上増の反動による売上高の減少、積極的な投資実行などにより前年同期比で減少しました。

EMC (電子部品事業)

		平成 24 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	平成 25 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	国内	181 億 17 百万円	196 億 50 百万円	+8.5%
	海外	438 億 61 百万円	422 億 96 百万円	△3.6%
	合計	619 億 78 百万円	619 億 46 百万円	△0.1%
営業利益		59 億 1 百万円	44 億 96 百万円	△23.8%

<国内売上高の状況>

民生業界の需要は下期以降、事務機器業界やモバイル業界などで拡大し、インフラ関連業界の需要も堅調に推移しました。その結果、当第 3 四半期連結累計期間における国内売上高は前年同期比で増加しました。

<海外売上高の状況>

米州では自動車業界の需要は増加しましたが、民生業界向けは減少しました。欧州では景気低迷が継続していることにより需要が減少しました。また、中国・アジアでは欧州の景気低迷に伴う輸出不振により売上高は横ばいに推移しました。それらの結果、当第 3 四半期連結累計期間における海外売上高は前年同期比で減少しました。

<営業利益の状況>

ユーロ安やグループ内への売上減少の継続により前年同期比で減少しました。

## A E C (車載事業)

		平成 24 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	平成 25 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売 上 高	国内	203 億 68 百万円	232 億 90 百万円	+14.3%
	海外	408 億 70 百万円	483 億 70 百万円	+18.4%
	合計	612 億 38 百万円	716 億 60 百万円	+17.0%
営 業 利 益		18 億 47 百万円	40 億 53 百万円	+119.4%

### <国内売上高の状況>

政府によるエコカー購入支援策（エコカー減税の延長・補助金復活）や軽自動車の販売好調などにより、自動車需要は好調に推移しました。当第 3 四半期累計期間における国内売上高は、東日本大震災やタイ洪水の影響による前年同期の一時的な売上減の反動もあり、前年同期比で増加しました。

### <海外売上高の状況>

金融不安による欧州経済の緊縮財政や雇用環境の悪化および中国における日系自動車メーカーの急激な販売の減少の影響により一部の需要は低迷しましたが、総じて海外自動車メーカーや新興国市場の需要は好調に推移しました。その結果、当第 3 四半期連結累計期間における海外売上高は、タイ洪水の影響による一時的な売上減の反動もあり、前年同期比で増加しました。

### <営業利益の状況>

売上高の増加、東日本大震災やタイ洪水の影響による前年同期の一時的な生産調整の反動などにより前年同期比で増加しました。

## S S B (社会システム事業)

		平成 24 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	平成 25 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売 上 高		329 億 85 百万円	368 億 5 百万円	+11.6%
営業利益（△損失）		△38 億 4 百万円	△25 億 88 百万円	—

### <駅務システム事業の売上高の状況>

鉄道事業各社の旅客収入は、東日本大震災の影響の反動等により前年同期比で回復し、駅務機器の更新投資は堅調に推移しました。この結果により券売機・改札機等の機器の納入および関連設置工事が拡大し、当第 3 四半期連結累計期間の売上高は前年同期比で増加しました。また、転落防止をはじめとした駅のホームの安心・安全に対するニーズも高まっています。

### <交通管理・道路管理システム事業、他の売上高の状況>

交通管理・道路管理システム事業においては、東日本大震災の影響による前年同期の一時的な復旧需要が一巡したこともあり当第 3 四半期連結累計期間の売上高は前年同期比で横ばいとなりました。環境ソリューション事業においては、再生可能エネルギーの全量買取制度の導入や環境関連投資促進税制の拡充が公表されたことを追い風として、新型機種への投入や販路拡大へ注力した結果、太陽光発電関連商品が好調に推移しました。

### <営業利益の状況>

売上高の増加により営業利益は前年同期比で損失額が減少しました。

## HCB (ヘルスケア事業)

		平成 24 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	平成 25 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	国内	198 億 78 百万円	216 億 99 百万円	+9.2%
	海外	264 億 24 百万円	302 億 80 百万円	+14.6%
	合計	463 億 2 百万円	519 億 79 百万円	+12.3%
営業利益		29 億 40 百万円	37 億 33 百万円	+27.0%

### <国内売上高の状況>

家庭向け健康機器の新商品（血圧計、体重体組成計、婦人用電子体温計、電動歯ブラシ、マッサージ機器、ねむり時間計、睡眠計）の販売が好調に推移し、主力商品である血圧計も好調な売上を維持するなど堅調に推移しました。医療機関向け機器は、医療機関における慎重な投資姿勢もあり、横ばいに推移しました。結果として当第 3 四半期連結累計期間における国内売上高は、東日本大震災の影響による前年同期の一時的な売上減の反動もあり、前年同期比で増加しました。

### <海外売上高の状況>

金融不安が落ち着きつつある中で、南欧・東欧市場の需要低迷は依然として続いているものの、ロシア・中国・東南アジアなどの新興国では健康機器商品の需要の増加が継続しており、当第 3 四半期連結累計期間の海外売上高は総じて好調に推移しました。

### <営業利益の状況>

ユーロ安などの影響はあったものの、売上高の増加などにより営業利益は前年同期比で増加しました。

## その他事業

		平成 24 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	平成 25 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高		395 億 36 百万円	441 億 74 百万円	+11.7%
営業利益（△損失）		△29 億 32 百万円	15 億 89 百万円	—

その他のセグメントでは、新規事業の探索・育成と、社内カンパニーに属さない事業の育成・強化を本社直轄事業として担当しています。

### <環境事業の売上高の状況>

代替電力対策として、太陽光発電に対する期待が高まる中、ソーラーパワーコンディショナ（創エネ事業）の需要増などにより当第 3 四半期連結累計期間の売上高は前年同期比で増加しました。

### <電子機器事業の売上高の状況>

無停電電源装置は電力供給不安に対する需要が堅調に推移するも、産業用組み込みコンピュータ、電子機器の開発・生産受託サービスの販売が低調に推移したため、当第 3 四半期連結累計期間の売上高は前年同期比で減少しました。

### <マイクロデバイス事業の売上高の状況>

MEMS マイクロフォンチップおよび産業向けカスタム IC の需要が急速に伸びた一方で半導体生産受託の急速な落込みにより、当第 3 四半期連結累計期間の売上高は前年同期比で減少しました。

### <バックライト事業の売上高の状況>

スマートフォン市場が好調に推移している中で大型案件の立ち上がりにより、当第 3 四半期累計期間の売上高は前年同期比で増加しました。

### <営業利益の状況>

環境事業の売上高の増加により営業利益は前年同期比で増加しました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第 3 四半期連結会計期間末の資産の部は、前連結会計年度末に比べ、たな卸資産の増加などにより 221 億 50 百万円増加して、5,594 億 73 百万円となりました。また、負債の部は支払手形及び買掛金・未払金などの減少により、前連結会計年度末に比べ 57 億 39 百万円減少して、2,099 億 4 百万円となりました。純資産の部は為替換算調整額等の変動により、前連結会計年度末に比べ 278 億 89 百万円増加し、3,495 億 69 百万円となりました。株主資本比率は前連結会計年度末の 59.7% から 62.2% となりました。

当第 3 四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況については、営業活動によるキャッシュ・フローは、非支配持分控除前四半期純利益の計上に加え売上債権の回収により、319 億 32 百万円の収入（前年同期比 189 億 49 百万円の収入増）となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、生産設備等への投資実行などにより、204 億 21 百万円の支出（前年同期比 27 億 33 百万円の支出増）となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いなどにより、43 億 19 百万円の支出（前年同期比 181 億 79 百万円の支出減）となりました。以上より、現金及び現金同等物の当第 3 四半期連結会計期間末残高は前連結会計年度末に比べ 94 億 69 百万円増加し、547 億 26 百万円となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成 24 年 4 月 26 日発表のとおりとし、変更いたしません。

なお、第 4 四半期の業績予想の前提となる為替レートは、1 米ドル 89 円、1 ユーロ 118 円です。

業績予想などは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更  
該当事項はありません。



### 3. 四半期連結財務諸表

#### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (平成24年3月31日)		当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
		%		%
( 資 産 の 部 )				
流 動 資 産	308,097	57.3	324,947	58.1
現金及び現金同等物	45,257		54,726	
受取手形及び売掛金	143,304		140,716	
貸倒引当金	△ 2,205		△ 2,030	
たな卸資産	92,253		101,461	
繰延税金	17,975		18,149	
その他の流動資産	11,513		11,925	
有 形 固 定 資 産	120,706	22.5	124,714	22.3
土地	26,950		27,255	
建物及び構築物	128,870		134,287	
機械その他	142,148		148,427	
建設仮勘定	7,417		7,153	
減価償却累計額	△ 184,679		△ 192,408	
投 資 そ の 他 の 資 産	108,520	20.2	109,812	19.6
関連会社に対する 投資及び貸付金	14,443		16,758	
投資有価証券	36,161		34,013	
施設借用保証金	7,219		6,983	
繰延税金	34,516		33,998	
その他の資産	16,181		18,060	
資 産 合 計	537,323	100.0	559,473	100.0

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (平成24年3月31日)		当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
		%		%
( 負債の部 )				
流 動 負 債	152,896	28.5	151,320	27.0
短期債務	18,774		19,730	
支払手形及び買掛金・未払金	79,331		77,084	
未払費用	29,179		25,630	
未払税金	623		3,301	
その他の流動負債	24,989		25,575	
繰延税金	738	0.1	547	0.1
退職給付引当金	60,432	11.2	56,338	10.1
その他の固定負債	1,577	0.3	1,699	0.3
負債の部合計	215,643	40.1	209,904	37.5
( 純資産の部 )				
株 主 資 本	320,840	59.7	347,900	62.2
資 本 金	64,100	11.9	64,100	11.5
資 本 剰 余 金	99,078	18.4	99,066	17.7
利 益 準 備 金	10,034	1.9	10,875	1.9
その他の剰余金	260,557	48.5	277,318	49.6
その他の包括利益(△損失)累計額	△ 68,433	△ 12.7	△ 58,964	△ 10.5
為替換算調整額	△ 36,544		△ 26,967	
退職年金債務調整額	△ 38,815		△ 38,106	
売却可能有価証券未実現利益	6,995		6,236	
デリバティブ純損失	△ 69		△ 127	
自 己 株 式	△ 44,496	△ 8.3	△ 44,495	△ 8.0
非 支 配 持 分	840	0.2	1,669	0.3
純資産の部合計	321,680	59.9	349,569	62.5
負債及び純資産合計	537,323	100.0	559,473	100.0

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括損益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

科 目	前第3四半期連結累計期間 〔自平成23年4月1日 至平成23年12月31日〕		当第3四半期連結累計期間 〔自平成24年4月1日 至平成24年12月31日〕	
	金 額	百分比	金 額	百分比
		%		%
売 上 高	452,859	100.0	463,681	100.0
売 上 原 価	283,596	62.6	292,730	63.1
売 上 総 利 益	169,263	37.4	170,951	36.9
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	107,608	23.7	110,972	24.0
試 験 研 究 開 発 費	31,518	7.0	32,131	6.9
営 業 利 益	30,137	6.7	27,848	6.0
そ の 他 費 用 ( △ 収 益 ) - 純 額 -	3,814	0.9	△ 368	△ 0.1
税 引 前 四 半 期 純 利 益	26,323	5.8	28,216	6.1
法 人 税 等	14,243	3.1	9,142	2.0
持 分 法 投 資 損 益 ( △ 利 益 )	403	0.1	△ 1,542	△ 0.3
非 支 配 持 分 控 除 前 四 半 期 純 利 益	11,677	2.6	20,616	4.4
非 支 配 持 分 帰 属 損 益 ( △ 損 失 )	36	0.0	△ 68	△ 0.0
当 社 株 主 に 帰 属 す る 四 半 期 純 利 益	11,641	2.6	20,684	4.4

(注) 前第3四半期連結累計期間の「法人税等」には、法人税率引下げに関連する法律が成立したことに伴う繰延税金資産の取崩し(5,346百万円)が含まれています。

(四半期連結包括損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

科 目	期 別	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
		金 額	金 額
非支配持分控除前 四半期純利益		11,677	20,616
その他の包括利益－税効果考慮後			
為 替 換 算 調 整 額		△ 11,744	9,657
退 職 年 金 債 務 調 整 額		519	709
売却可能有価証券未実現利益 (△損失)		△ 2,664	△ 759
デリバティブ純利益 (△純損失)		△ 90	△ 58
その他の包括利益 (△損失) 計		△ 13,979	9,549
四半期包括利益 (△損失)		△ 2,302	30,165
(内訳)			
非支配持分に帰属する四半期包括利益		20	12
当社株主に帰属する四半期包括利益 (△損失)		△ 2,322	30,153

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別		前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間	
			〔自平成23年4月1日 至平成23年12月31日〕		〔自平成24年4月1日 至平成24年12月31日〕	
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>						
1. 非支配持分控除前四半期純利益				11,677		20,616
2. 営業活動によるキャッシュ・フローへの調整						
(1) 減価償却費		16,241			16,402	
(2) 固定資産除売却損(純額)		39			136	
(3) 投資有価証券売却益(純額)	△	261			△ 360	
(4) 投資有価証券の減損		385			693	
(5) 退職給付引当金	△	4,325			△ 3,156	
(6) 繰延税金		7,023			872	
(7) 持分法投資損益(△利益)		403			△ 1,542	
(8) 資産・負債の増減						
① 受取手形及び売掛金の減少		7,359			7,080	
② たな卸資産の増加	△	20,303			△ 6,001	
③ その他の資産の増加	△	545			△ 6	
④ 支払手形及び買掛金・未払金の増加(△減少)		756			△ 2,479	
⑤ 未払税金の増加(△減少)	△	1,897			2,608	
⑥ 未払費用及びその他流動負債の減少	△	4,720			△ 1,155	
(9) その他(純額)		1,151		1,306	△ 1,776	11,316
営業活動によるキャッシュ・フロー				12,983		31,932
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>						
1. 投資有価証券の売却による収入				552		835
2. 資本的支出				△ 19,366		△ 21,272
3. 施設借用保証金の減少(△増加)(純額)				△ 94		317
4. 有形固定資産の売却による収入				1,526		781
5. 関連会社に対する投資及び貸付金の増加				△ 306		△ 1,884
6. 事業の売却(現金流出額との純額)				-		90
7. 事業の買収(現金取得額との純額)				-		98
8. 非支配持分の買収				-		△ 10
9. その他(純額)				-		624
投資活動によるキャッシュ・フロー				△ 17,688		△ 20,421
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>						
1. 短期債務の増加(△減少)(純額)				△ 15,811		922
2. 親会社の支払当金				△ 6,604		△ 6,164
3. 非支配株主への支払当金				△ 15		△ 2
4. 非支配株主からの資本取引による入金額				-		819
5. その他(純額)				△ 68		106
財務活動によるキャッシュ・フロー				△ 22,498		△ 4,319
<b>IV 換算レート変動の影響</b>				△ 2,833		2,277
現金及び現金同等物の増減額				△ 30,036		9,469
期首現金及び現金同等物残高				74,735		45,257
四半期末現金及び現金同等物残高				44,699		54,726
<b>営業活動によるキャッシュ・フローの追記</b>						
1. 支払利息の支払額				195		193
2. 法人税等の支払額				9,166		5,592
キャッシュ・フローを伴わない投資及び財務活動の追記 資本的支出に関連する債務				2,201		487

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

(単位: 百万円)

	I A B	EMC	A E C	S S B	H C B	その他	計	消去調整他	連結
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	205,910	61,978	61,238	32,985	46,302	39,536	447,949	4,910	452,859
(2)セグメント間の内部売上高	4,445	41,063	260	2,686	36	11,263	59,753	△ 59,753	—
計	210,355	103,041	61,498	35,671	46,338	50,799	507,702	△ 54,843	452,859
営業費用	182,591	97,140	59,651	39,475	43,398	53,731	475,986	△ 53,264	422,722
営業利益(△損失)	27,764	5,901	1,847	△ 3,804	2,940	△ 2,932	31,716	△ 1,579	30,137

当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

(単位: 百万円)

	I A B	EMC	A E C	S S B	H C B	その他	計	消去調整他	連結
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	192,452	61,946	71,660	36,805	51,979	44,174	459,016	4,665	463,681
(2)セグメント間の内部売上高	4,109	37,504	167	2,716	63	13,166	57,725	△ 57,725	—
計	196,561	99,450	71,827	39,521	52,042	57,340	516,741	△ 53,060	463,681
営業費用	176,271	94,954	67,774	42,109	48,309	55,751	485,168	△ 49,335	435,833
営業利益(△損失)	20,290	4,496	4,053	△ 2,588	3,733	1,589	31,573	△ 3,725	27,848

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

(単位: 百万円)

	日本	米州	欧州	中華圏	東南アジア 他	計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	217,049	53,838	63,483	78,782	39,707	452,859	—	452,859
(2)セグメント間の内部売上高	96,369	1,585	1,123	45,659	9,369	154,105	△ 154,105	—
計	313,418	55,423	64,606	124,441	49,076	606,964	△ 154,105	452,859
営業費用	299,176	53,199	62,101	115,984	44,749	575,209	△ 152,487	422,722
営業利益(△損失)	14,242	2,224	2,505	8,457	4,327	31,755	△ 1,618	30,137

当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

(単位: 百万円)

	日本	米州	欧州	中華圏	東南アジア 他	計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	231,461	59,179	55,906	77,996	39,139	463,681	—	463,681
(2)セグメント間の内部売上高	93,193	1,494	733	54,867	12,538	162,825	△ 162,825	—
計	324,654	60,673	56,639	132,863	51,677	626,506	△ 162,825	463,681
営業費用	308,081	59,033	55,647	123,859	48,073	594,693	△ 158,860	435,833
営業利益(△損失)	16,573	1,640	992	9,004	3,604	31,813	△ 3,965	27,848

(注) 日本以外の区分に属する主な国または地域

- (1) 米州……………米国・カナダ・ブラジル
- (2) 欧州……………オランダ・英国・ドイツ・フランス・イタリア・スペイン
- (3) 中華圏……………中国・香港・台湾
- (4) 東南アジア他……………シンガポール・韓国・インド・豪州

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

(単位:百万円)

	米州	欧州	中華圏	東南アジア他	計
I 海外売上高	55,346	67,460	79,671	41,674	244,151
II 連結売上高					452,859
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	12.2	14.9	17.6	9.2	53.9

当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

(単位:百万円)

	米州	欧州	中華圏	東南アジア他	計
I 海外売上高	60,230	59,948	78,870	40,935	239,983
II 連結売上高					463,681
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	13.0	12.9	17.0	8.9	51.8

(注) 各区分に属する主な国または地域

- (1) 米州……………米国・カナダ・ブラジル
- (2) 欧州……………オランダ・英国・ドイツ・フランス・イタリア・スペイン
- (3) 中華圏……………中国・香港・台湾
- (4) 東南アジア他……………シンガポール・韓国・インド・豪州

(7) 重要な後発事象

当社は、平成25年1月30日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式を消却することを決議いたしました。

1. 消却する株式の種類 当社普通株式
2. 消却する株式の数 12,000,000株  
(消却前の発行済株式総数に対する割合 5.02%)
3. 消却予定日 平成25年2月28日

(ご参考)

消却後の発行済株式総数 227,121,372株

#### 4. 補足情報

##### (1) 連結業績概要

		第3四半期累計			通期		
		平成24年3月期 第3四半期	平成25年3月期 第3四半期	前年同期比	平成24年3月期	平成25年3月期 予想	前期比
売上高	百万円	452,859	463,681	102.4%	619,461	650,000	104.9%
営業利益 (率)	百万円 (%)	30,137 (6.7%)	27,848 (6.0%)	92.4% (△0.7P)	40,136 (6.5%)	46,000 (7.1%)	114.6% (+0.6P)
税引前四半期(当期)純利益 (率)	百万円 (%)	26,323 (5.8%)	28,216 (6.1%)	107.2% (+0.3P)	33,547 (5.4%)	43,000 (6.6%)	128.2% (+1.2P)
当社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	百万円	11,641	20,684	177.7%	16,389	28,500	173.9%
1株当たり当社株主に 帰属する四半期(当期)純利益	円 銭	52円89銭	93円96銭	+41円07銭	74円46銭	129円47銭	+55円01銭
潜在株式調整後 1株当たり当社株主に 帰属する四半期(当期)純利益	円 銭	52円89銭	93円96銭	+41円07銭	74円46銭	129円47銭	+55円01銭
株主資本当社株主に帰属する 当期純利益率	(%)				5.2%	8.5%	(+3.3P)
総資産	百万円	523,283	559,473	106.9%	537,323		
株主資本 (株主資本比率)	百万円 (%)	307,343 (58.7%)	347,900 (62.2%)	113.2% (+3.5P)	320,840 (59.7%)		
1株当たり株主資本	円 銭	1,396円47銭	1,580円43銭	+183円96銭	1,457円51銭		
営業活動による キャッシュ・フロー	百万円	12,983	31,932	+18,949	31,946		
投資活動による キャッシュ・フロー	百万円	△17,688	△20,421	△2,733	△26,486		
財務活動による キャッシュ・フロー	百万円	△22,498	△4,319	+18,179	△33,492		
現金及び現金同等物 四半期末(期末)残高	百万円	44,699	54,726	+10,027	45,257		

(注) 連結子会社数は152社、持分法適用関連会社数は12社です。



(2) 連結セグメント別売上高実績

(単位：億円)

		平成24年3月期 第3四半期累計	平成25年3月期 第3四半期累計	前年同期比
I A B	国 内	922	871	94.4%
	海 外	1,137	1,054	92.7%
	計	2,059	1,925	93.5%
E M C	国 内	181	196	108.5%
	海 外	439	423	96.4%
	計	620	619	99.9%
A E C	国 内	204	233	114.3%
	海 外	409	484	118.4%
	計	613	717	117.0%
S S B	国 内	328	367	112.0%
	海 外	2	1	48.1%
	計	330	368	111.6%
H C B	国 内	199	217	109.2%
	海 外	264	303	114.6%
	計	463	520	112.3%
その他	国 内	212	314	147.7%
	海 外	183	128	70.0%
	計	395	442	111.7%
消去調整他	国 内	41	39	95.1%
	海 外	8	7	94.8%
	計	49	46	95.0%
合 計	国 内	2,087	2,237	107.2%
	海 外	2,442	2,400	98.3%
	(海外比率)	(53.9%)	(51.8%)	(△2.1P)
	計	4,529	4,637	102.4%

(3) 連結セグメント別営業利益実績

(単位：億円)

	平成24年3月期 第3四半期累計	平成25年3月期 第3四半期累計	前年同期比
I A B	278	203	73.1%
E M C	59	45	76.2%
A E C	18	41	219.4%
S S B	△ 38	△ 26	—
H C B	29	37	127.0%
その他	△ 29	16	—
消去調整他	△ 16	△ 38	—
合計	301	278	92.4%

(4) 期中平均レート実績

(1外貨当たり 円)

	平成24年3月期 第3四半期累計	平成25年3月期 第3四半期累計	前年同期比
U S D	79.2	80.4	+1.2
E U R	111.4	103.2	△8.2

(5) 連結セグメント別売上高予想

(単位：億円)

		平成24年3月期	平成25年3月期 予想	前期比
I A B	国 内	1,231	1,200	97.4%
	海 外	1,477	1,470	99.5%
	計	2,708	2,670	98.6%
E M C	国 内	253	295	116.8%
	海 外	577	580	100.4%
	計	830	875	105.4%
A E C	国 内	289	310	107.3%
	海 外	561	640	114.0%
	計	850	950	111.7%
S S B	国 内	569	655	115.1%
	海 外	3	5	161.3%
	計	572	660	115.4%
H C B	国 内	272	295	108.2%
	海 外	352	400	113.7%
	計	624	695	111.3%
その他	国 内	295	430	145.5%
	海 外	240	160	66.7%
	計	535	590	110.2%
消去調整他	国 内	55	50	90.9%
	海 外	21	10	47.6%
	計	76	60	78.9%
合 計	国 内	2,964	3,235	109.2%
	海 外	3,231	3,265	101.0%
	(海外比率)	(52.2%)	(50.2%)	(△2.0P)
	計	6,195	6,500	104.9%

(6) 連結セグメント別営業利益予想

(単位：億円)

	平成24年3月期	平成25年3月期 予想	前期比
I A B	333	335	100.5%
E M C	72	80	110.5%
A E C	27	50	185.8%
S S B	1	25	2551.0%
H C B	29	45	154.2%
その他	△ 36	△ 5	—
消去調整他	△ 25	△ 70	—
合計	401	460	114.6%

(7) 期中平均レート予想

(1外貨当たり 円)

	平成24年3月期	平成25年3月期 予想	前期比
U S D	79.3	82.6	+ 3.3
E U R	110.3	107.1	△ 3.2